

ありがとうSL銀河！

これまで平成26年から運行を続けてきた「SL銀河」が老朽化に伴い、6月10日、11日が最後の運行（一般運行は6月3日、4日が最後）となります。春夏秋冬それぞれの風景写真とそれを追いかけた人達の想いに迫ります。

© 芳賀憲一

春



夏



© 鈴木哲



鈴木 哲 さん
カメラ歴：50年以上

初

めは人を撮るのが好きだったんですが、SLが走るようになってから、風景や物も撮るようになりました。そこからは毎週のように通うように。SLはやっぱり煙が迫力満点で最高ですよ。撮っていると、煙にも色の濃淡があったり、運転手によっても出方が違ったり、奥深さを感じます。いいロケーションを見つけて、いろんな条件が重なって、自分が納得のいく一枚が撮れた時は格別です。SLが終わってしまうのは寂しいですが、これまで頑張った分「ごくろうさま」と言いたいです。

も

ともと鉄道が好きで、SL銀河が終わるに当たり、お母さんから「記憶に残してほしい」ということを言われ、1年前から乗り始めました。それ以降は、毎週のように乗車を重ね、これで60回目（5月4日取材時点）になりました。回数を重ねていくうちに、機関士さんによって、汽笛の鳴らし方や音の強さ、坂を上る速さなどが全然違うことにも気づきました。

SL銀河が終わってしまうのは悲しいし、沿岸の復興支援という観点からこれが無くなるのは残念です。将来は機関士になって、もし復活することがあればその時は自らの手で運転したいです。

釜石と鉄道

釜石の鉄道は日本で3番目の鉄道として1880年に運行を開始しました。当初は、釜石鉱山の鉄鉱石を製鉄所に輸送するために作られました。その後旅客鉄道としても用いられました。1950年に仙人峠を越える区間である足ヶ瀬駅―陸中大橋駅が開通し、花巻駅―釜石駅間の釜石線が全通しました。



C58239

1940年に製造され、1972年まで山田線や釜石線、大船渡線などを中心に運行し、廃車後は、岩手県営運動公園に展示保存されていました。その後、東日本大震災で甚大な被害にあった東北地域の復興支援と地域の活性化を目指し、2014年4月に「SL銀河」の牽引車両として整備されました。



秋



© 鈴木哲

冬



© 鈴木哲

土曜日はSL銀河で来釜し、その日のうちに在来線で帰盛。日曜日の早朝5時57分盛岡発の在来線で再度来釜し、SL銀河に乗って帰盛するというSL銀河漬けの週末を送る川村さん。SL銀河の機関士さんとも知れた仲。



川村 瑠成 さん（盛岡市上田中3年）